

経営比較分析表（令和6年度決算）

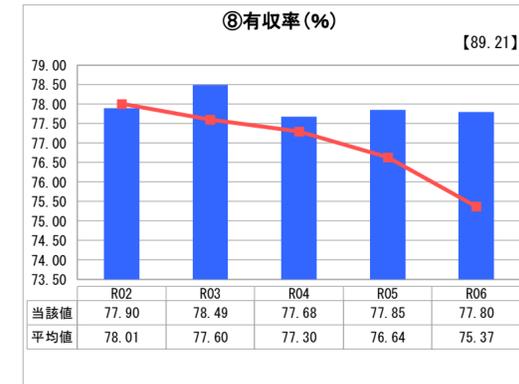
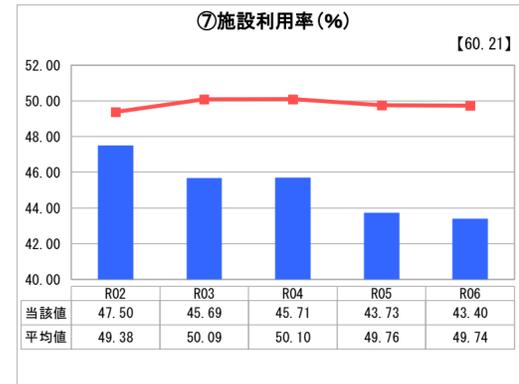
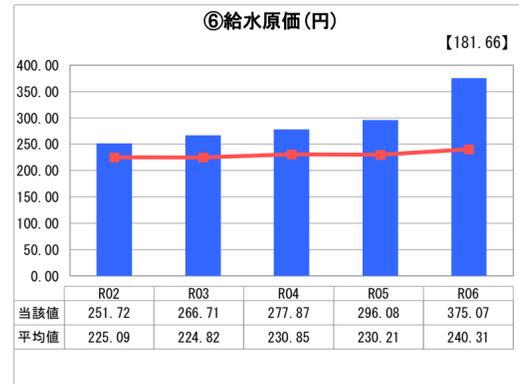
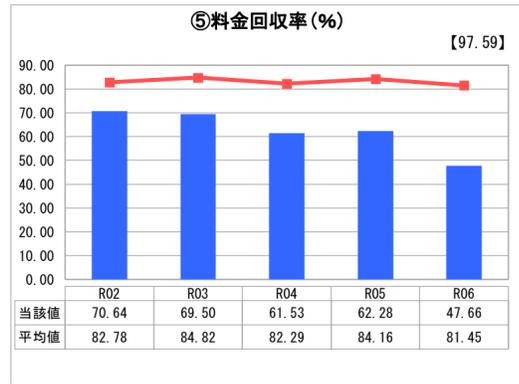
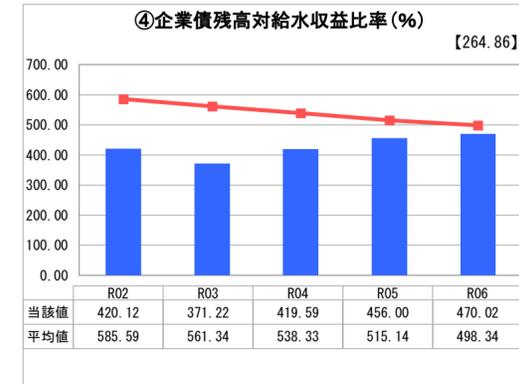
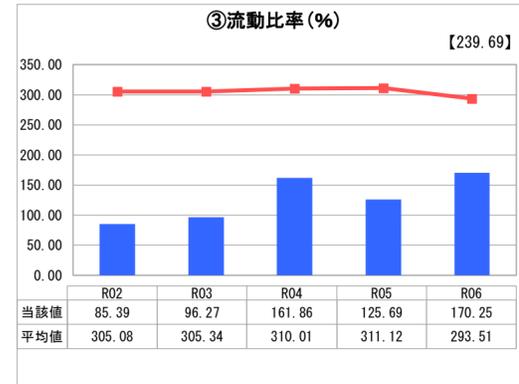
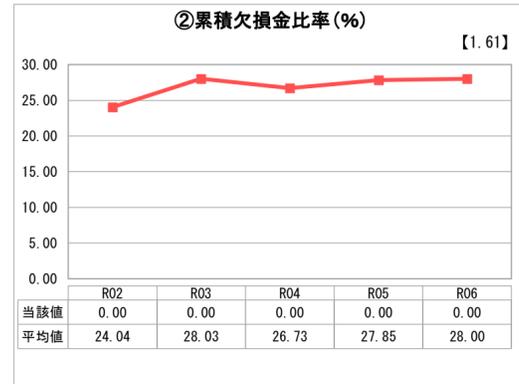
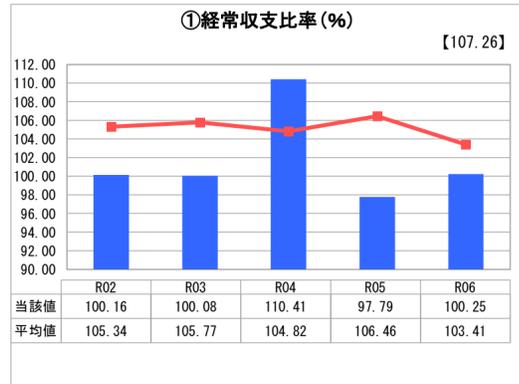
福井県 南越前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	68.66	98.22	3,465	

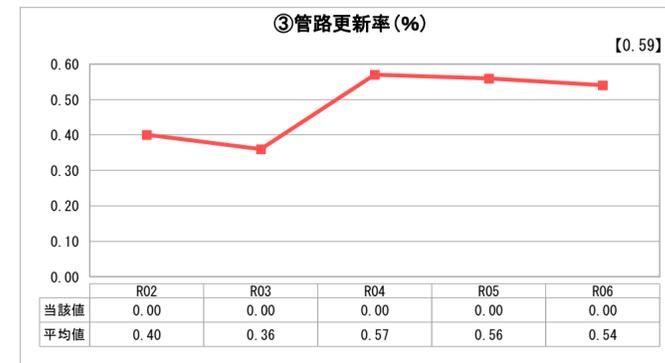
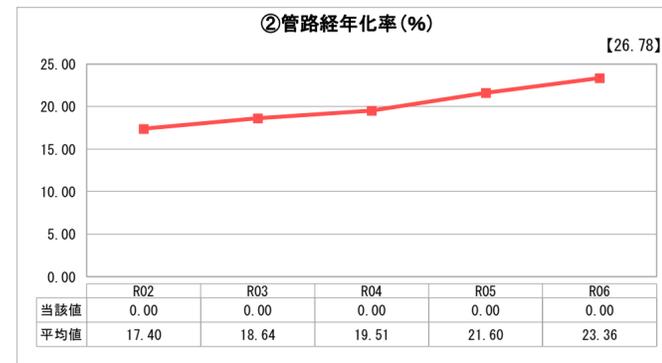
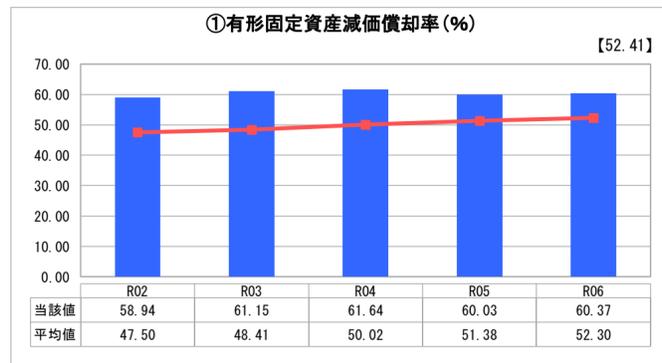
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,448	343.69	27.49
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,213	19.60	470.05

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 収益的収支比率は、100%を超えてはいるものの、使用料以外の収入である他会計繰入金がある割合が大きく、今後も、このような状態が継続すると考えられる。
- ② 流動比率は、類似団体より低く、一時借入金は無いものの経常比率が示すとおり、恒常的に他会計補助金に依存している状況である。
- ③ 企業債残高対給水収益比率について、更新事業による新規の企業債があり上昇している。
- ④ 料金回収率は100%を下回っており、また類似団体よりも低い状況であることから、経営戦略の見直しを図るとともに料金改定の検討を計画している。
- ⑤ 給水原価は類似団体に比較して高い傾向にある。物価高騰の影響による電気料等維持管理費が例年に比べ膨らみ、また災害関連の工事請負費が増加したことにより上昇した。
- ⑥ 施設利用率は、今後は人口減少に伴い徐々に減少していくことが予測される。
- ⑦ 有収率は、ほぼ横ばい傾向にあり、今後も継続して漏水対策を実施していく。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は増加していることから、施設の更新が進んでおらず、老朽化が徐々に進行していることが伺える。
- 現在は、臨時的な不具合に対し、スポット的に必要部分の改修を行っている。また、耐用年数の短い機器については、点検時に特に動作状況に注意を払い、機能維持に努めている。

全体総括

経営の健全化について、維持管理経費の削減に取り組んでいる。しかしながら、施設立地が中山間地であり、人口に対する管路延長が長く、施設数も多いことから維持経費の大幅な削減は困難である。そのため、収入の中で他会計補助金が高い割合を占めている。加えて、今後は人口減少がさらに加速することに加え、節水型機器の普及拡大が進んでいることから、今以上に料金の減収が予測される。

今後は経営戦略の改定や、料金改定により、財源確保を図るとともに、経営の健全化を進めていく。